



文部科学省「1人1台端末の利活用促進に向けた取組について(通知)」を公表

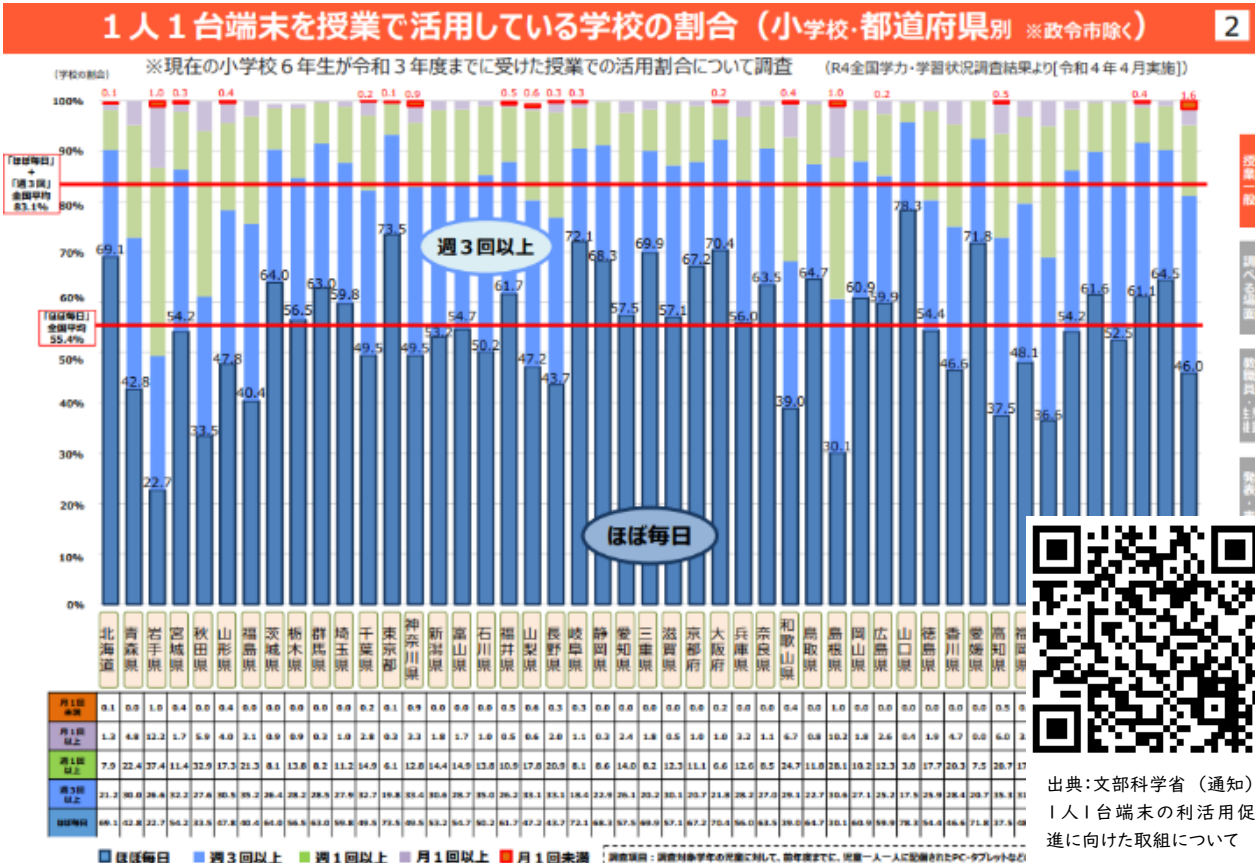
文部科学省は2022年11月25日、1人1台端末の利活用促進に向けた取組にあたり、各都道府県の教育委員会等に必要な指導・助言、援助を行うよう通知しました。ICT支援員(情報通信技術支援員)の配置には大きな地域差があり「4校1人配置」の基準を満たすよう依頼しています。

GIGA スクール構想による端末整備が完了し、文部科学省が2022年4月に実施した調査によると1人1台端末を「ほぼ毎日」授業で活用している学校は、小学校が全国平均 55.4%と約半数にとどまっています。もっとも多い山口県で 78.3%、もっとも少ない岩手県では 22.7%と、地域により大きな差が見られ、本県においては、54.2%で全国平均より低い結果となりました。

また、必要となるICT支援員の配置状況は、2021年度末時点で全国平均が5.7校に1人と、教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018~2022年度)で目標とする水準「4校に1人配置」には届いておらず、都道府県別でみると、4校に1人の水準を満たしているのは、東京都、佐賀県、熊本県の3都県のみで、端末活用状況と同様に地域差が課題となっています。

文部科学省のサイトより、「1人1台端末の利活用促進に向けた取組について(通知)」をご覧いただき、1人1台端末の利活用促進のための取組を一層進められるようお願いします。

▼1人1台端末を授業で活用している学校の割合~文部科学省が、令和4年度全国学力・学習状況調査結果をもとに作成~



GIGA スクール2年目 地域や学校における ICT 活用格差の行方

GIGA スクール構想により、公立の小学校と中学校に整備された「1人1台端末」ですが、その活用が始まって2年目を迎えました。さて、皆さんの学校では、児童生徒に配られた1人1台端末を活用した学校教育は、どのくらい進んでいるのでしょうか。

現在の学校教育は、現行の学習指導要領に基づいて行われ、Society 5.0に向けた新しい時代に必要となる資質・能力を育成のため、主体的・対話的で深い学びによって知識の理解の質を高めていくということが基本方針となっています。しかし、ICTの活用を踏まえた授業の変化が求められている中で、学校間・自治体間での教育の格差が広がってきていることなどの大きな課題も見えてきました。

これらの課題について、これまで教育データの利活用や校務DXへの今後の道筋など、国の様々な教育情報施策に関わっている、東北大学大学院堀田龍也教授が、ICT活用による教育の格差の行方や今後の課題についてお話されておりますのでご紹介します。ご自分の所属校での1人1台端末を活用した教育活動を振り返りながら、ご覧になって下さい。



出典：東洋経済新報社
「GIGA スクール2年目「残念な学校、残念な先生」が広げる ICT 活用格差の行方」
東北大学大学院 情報科学研究科
教授 堀田 龍也氏

名取市の小中学校で iPad を使った公開授業が行われました

名取市教育委員会では、令和3年度からiPad活用モデル事業に取り組んでおり、授業でのiPadの効果的な活用の在り方等について研究が進められています。今年度は、モデル校3校で公開授業が行われ、名取市立みどり台中学校の公開授業の様子がNHKニュースで取り上げられました。

なお、「名取市 iPad 活用モデル事業」については、宮城県総合教育センターMナビTV「おらほのICT」でもご紹介しておりますので、是非ご覧ください。
※公開授業は、名取市立高館小学校、名取市立相互台小学校、名取市立みどり台中学校の3校で行われました。



出典：NHK NEWS WEB



宮城県総合教育センター
MナビTV「おらほのICT」

1人1台端末等のスムーズな運用に向け、年度末更新に向けた準備をしていますか

新年度から、児童生徒がICT端末をスムーズに使用できるよう、端末更新やアカウント更新が必要となります。特に児童生徒のGoogleアカウントの年度末更新については、以下のとおり作業が必要ですので見通しを持って計画しましょう。

- 「小学校」から「中学校」への組織変更
- 「中学校」から「県立学校」への組織変更
- 「転入・転出等」による組織変更・新規作成
- 「卒業・転出等」によるGoogleデータの取扱い

※上記は、宮城県教育委員会より配布されている児童生徒のGoogleアカウントの作業内容です。

みやぎの先生 ICT活用支援サイト

～ICT機器を活用した授業実践に向けて～

参考：みやぎの先生 ICT活用支援サイト Google 操作動画
「卒業/転校時のGoogleデータの移動方法について」



編集後記

Mナビ新聞-情報教育通信-第12号はいかがだったでしょうか。今回は、1人1台端末の利活用促進に向けた取組についてや今後のICT活用による教育の格差の行方についてなどをご紹介いたしました。

なお、Mナビ新聞では、皆様からのご感想・ご意見・ご要望を募集しております。右記の二次元コードからフォームに記入していただけると幸いです。（第12号担当：三浦）

